

アオモンギンセダカモクメ

Cucullia argentea (Hufnagel)
チョウ目・ヤガ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

既知産地で何度か調査したが確認できなかった。県内での最近の記録は1997年であり、20年近く記録がない。もともと限られていた本種の生息環境は悪化していると考えられる。

分布

本州～九州に分布。県内では越前市（旧武生市内）に古い記録があり、永平寺町の九頭竜川河川敷に最近の記録がある。

種の特徴

開張35mm内外。薄緑色の地色に銀白色紋を有する美麗種で、幼虫はカワラヨモギを食草とする。成虫は年1化、8月下旬～9月上旬に出現する。県内では河川敷に生息記録があるが、海岸草原に生息するところもあるという。

生息を脅かす要因

県内の生息範囲は極めて狭いうえ、河川開発や平地雑草の侵入によるカワラヨモギの衰退が脅威となる。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、井崎（1971）、環境省（2015）、岸田（2011b）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
										○		○					

モートンイトトンボ

Mortonagrion selenion (Ris)
トンボ目・イトトンボ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

安定した生息地が限られている。

分布

国内では北海道（南部）、本州、四国、九州等に分布する。本県では各地に記録が点在するが、確実な生息地は限られている。

種の特徴

体長22～32mmの小型のイトトンボ。オスは腹部が鮮やかな橙色で、メスは未熟期は橙色だが成熟すると緑色となる。成熟メスはアジアイトトンボとしばしば混同される。草丈の低い湿地や水田に生息する。成虫は5～8月に出現する。

生息を脅かす要因

湿地の植生遷移や埋め立て、アメリカザリガニの増加等が脅威となる。

参考文献 尾園ら（2013）、和田・和田（2006）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○	○				○			○			○	○

ホソミイトトンボ

Aciagrion migratum (Selys)
トンボ目・イトトンボ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

安定した生息地が限られている。

分布

国内では本州（関東以西）、四国、九州等に分布する。本県では主に嶺南に分布する。

種の特徴

体長30～38mmの細身のイトトンボ。夏に出現する夏型（成熟個体は青緑色）と、秋に羽化し成虫のまま越冬して春に生殖活動を行う越冬型（成熟個体は青色）の2型が見られる。池沼や湿地に生息する。

生息を脅かす要因

湿地の植生遷移や埋め立て、アメリカザリガニの増加等が脅威となる。

参考文献 尾園ら（2013）、和田・和田（2006）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○		○	○											○